



Pack
25

Ferrari

250 GTO



Ferrari

250 GTO

組み立てガイド

STAGE 97	フェラーリバッジとワイパー	P.385
STAGE 98	シャーシ・ベースパネル	P.389
STAGE 99	シャーシ・ベースパネル②	P.393
STAGE 100	シャーシ・ベースパネル③	P.397



フェラーリバッジとワイパー

細かなパーツを4つのホイールに装着していく。



パーツリスト

97-1 長方形の両面テープ(5枚+予備5枚)

97-2 フェラーリバッジ

97-3 丸型の両面テープ(大)

97-4 丸型の両面テープ(小)

97-5 燃料キャップ

97-6 ワイパー×2

97-7 ボディ下側のパーツ×2

97-8 ボンネットマウント×2

ネジ類

ネジD(p2.3×5 mm) 3本(1本は予備)

ネジJ(M2.3×4 mm) 3本(1本は予備)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 97



/01

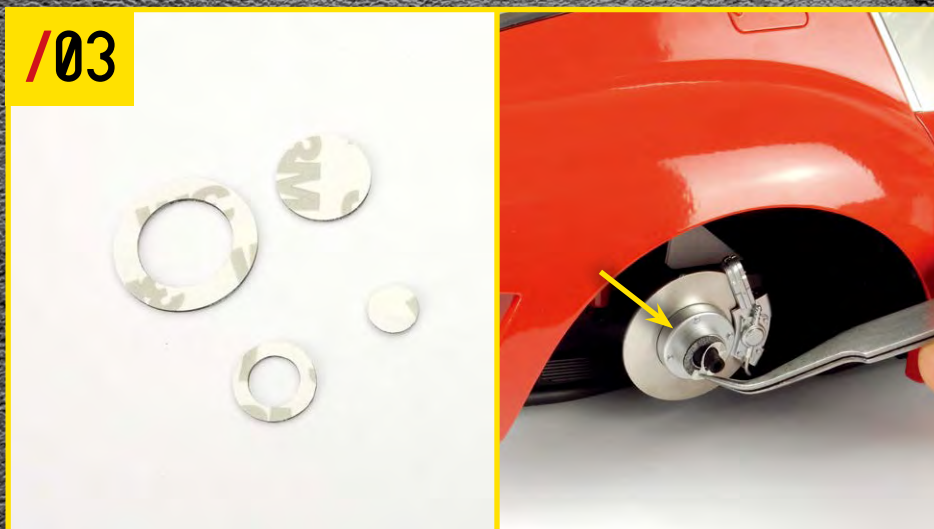
97-1 (長方形の両面テープ)を台紙から剥がし、写真のようにフロントグリルに貼る。

反対側も剥がして、97-2 (フェラーリバッジ)を貼り付ける。



/02

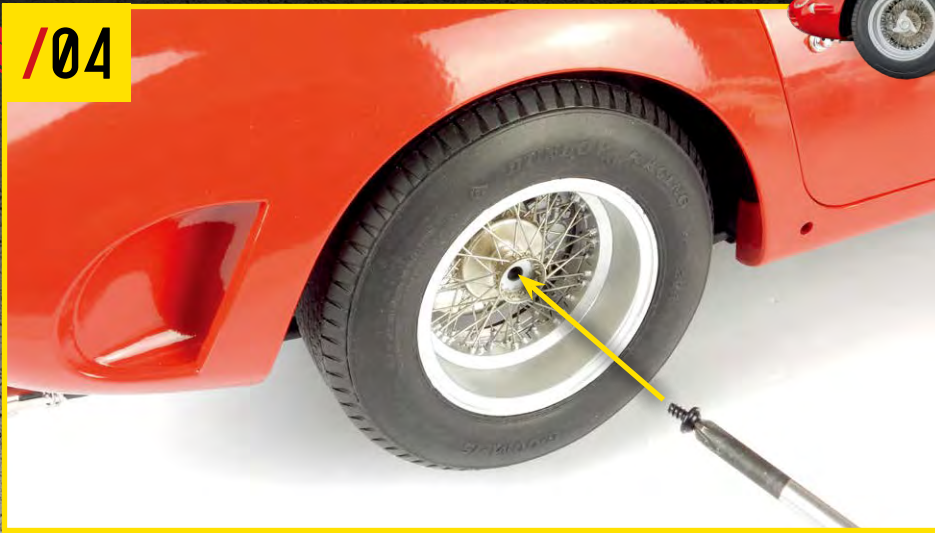
/03



97-3 (丸型の両面テープ・大)と97-4 (丸型の両面テープ・小)の中央部分を剥がす。97-4 (丸型の両面テープ・小)の片側を剥がし、右リアブレーキに貼り付ける。97-3 (丸型の両面テープ・大)も片側を剥がす。



/04



右のリアホイールを取り出し、ブレーキに取り付ける。ネジDで固定する。

/05

97-3 (丸型の両面テープ・大)の片側を剥がし、右のフロントホイールのハブ内側に貼り付ける。



/06

両面テープの反対側をはがし、右フロントホイールを写真のようにはめ込む。ネジJのネで固定する。



/07

97/03~06を繰り返し、残り2つのホイールをボディ左側に取り付ける。

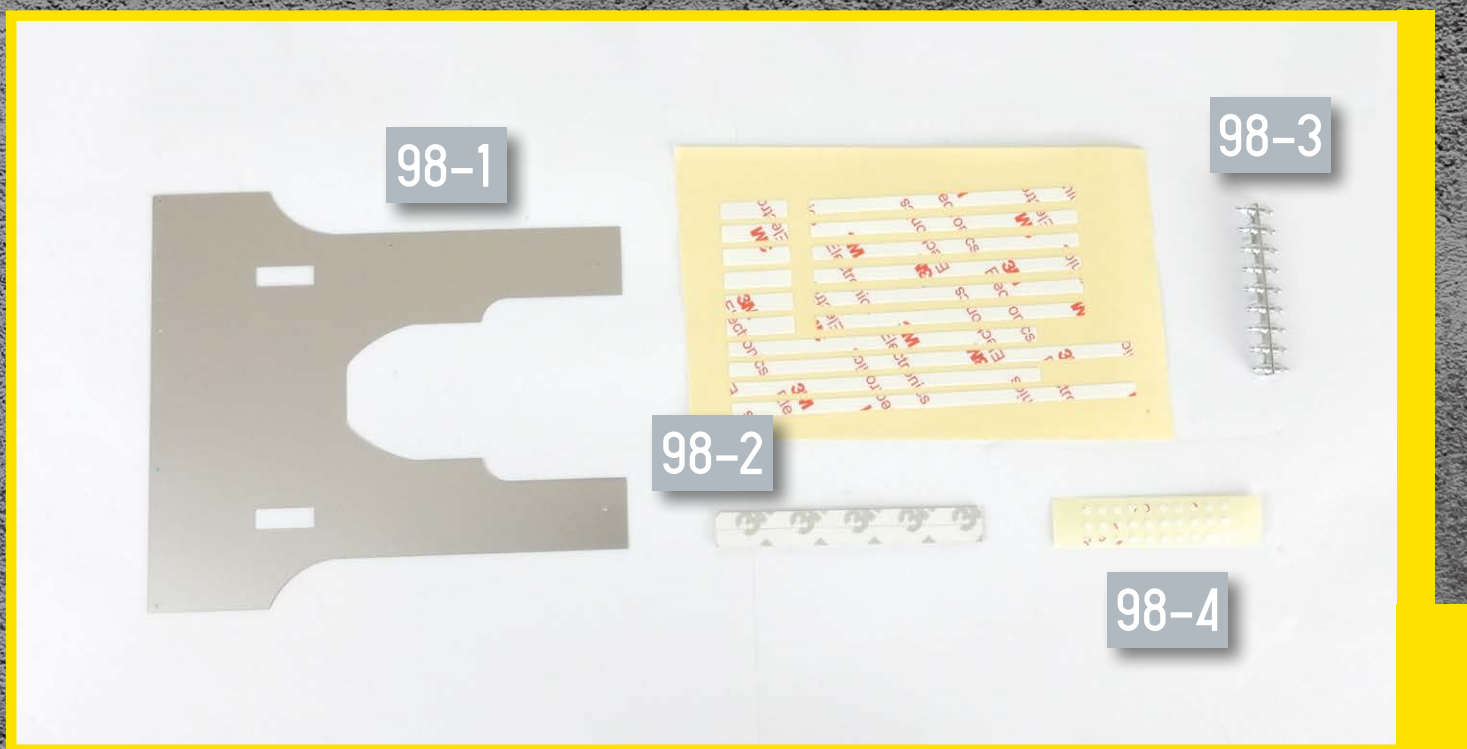


STAGE 07 の完成

4つのホイールを取り付けた。残りのパーツは大切に保管しておこう。

シャーシ・ベースパネル

これからは最終的なパーツを加えていく。今回使わないパーツは大切に保管しておこう。



パーツリスト

- 98-1 フロントパネル
- 98-2 長方形の両面テープ(8枚+予備10枚)
- 98-3 ベースパネルのボルト(15本+予備3本)
- 98-4 丸型の両面テープ(15個+予備15個)

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったならネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネラルオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



93-7 左リアハブキャップ



93-8 右リアハブキャップ



フロント側にはロゴがある

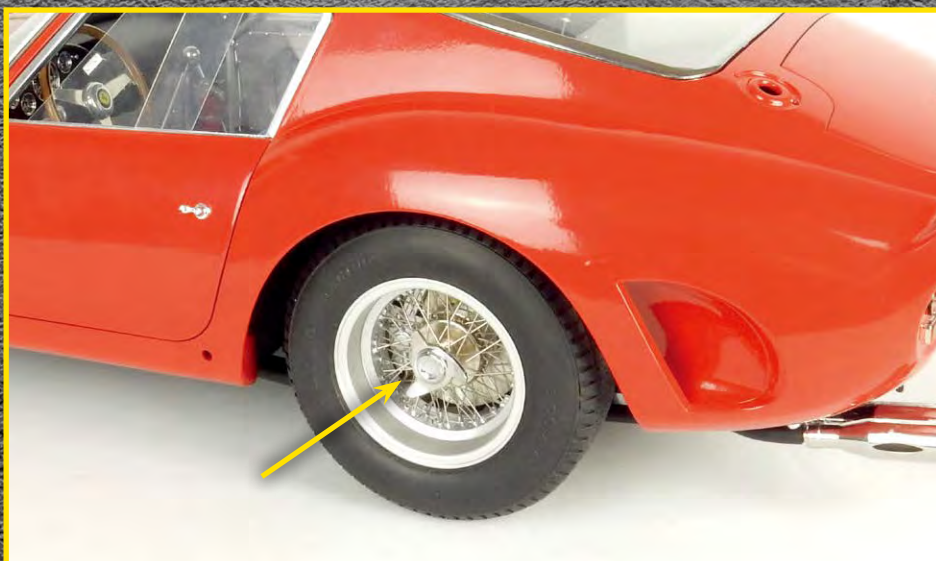
94-4 左フロントハブキャップ



フロント側にはロゴがある

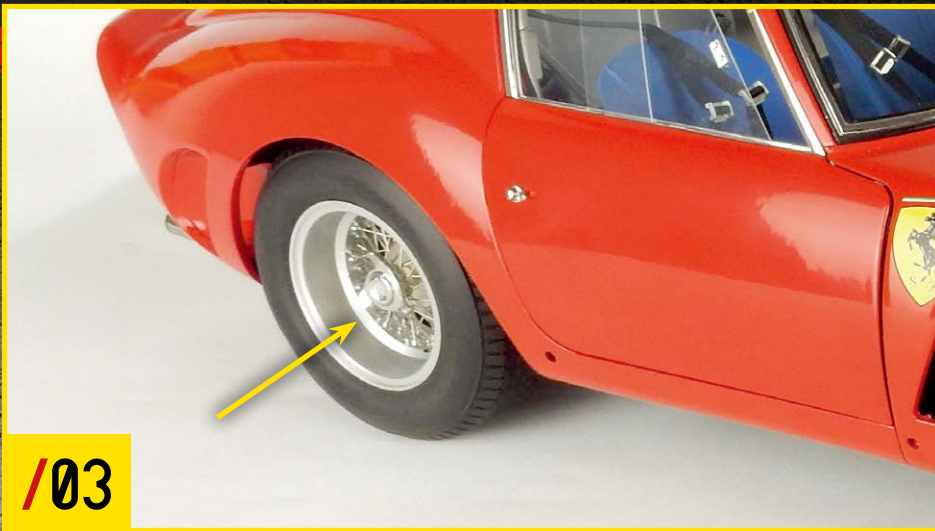
94-5 右フロントハブキャップ

STAGE 93 と STAGE 94 で保管しておいたハブキャップ(93-7、93-8、94-4、94-5)を用意する。写真をよく見て、正しく把握しよう。



93-7(左リアハブキャップ)を左リアホイールの中央にはめ込む。磁石で固定される。

/02



/03

次に、93-8(右リアハブキャップ)を右リアホイールにはめ込む。



/04

さらに、左フロントホイールの94-4(左フロントハブキャップ)を取り付ける。



/05

最後に、右フロントホイールに94-5(右フロントハブキャップ)を取り付ける。

/06



97-6(ワイパー)と、**STAGE97** で保管しておいた97-1(長方形の両面テープ)を用意する。中サイズの両面テープ2枚を台紙から剥がし、ワイパーのスタッドに貼り付ける。

両面テープの反対側をはがし、スタッドをボディ前部の穴に挿入する。



/07

STAGE98 の完成

ここまで仕上がった。残りのパーツは大切に保管しておこう。



シャーシ・ベースパネル②

いよいよ組み立ても最終段階だ。さらにパーツを加えていく。今回使用しなかったパーツは細切りに保管しておこう。

99-1



パーツリスト

99-1 中央パネル

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締まらなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

STAGE 99

/01



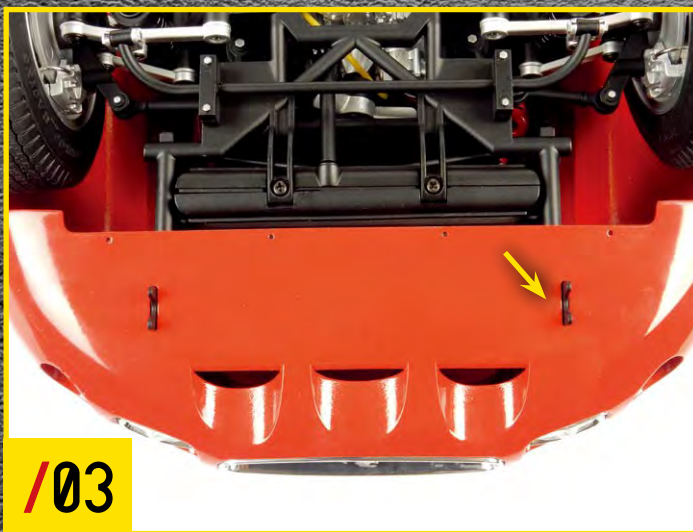
STAGE 97 で保管しておいた 97-5 (燃料キャップ) をボディ後部に取り付ける。

ボディを傷つけないように注意しながら裏返す。STAGE 97 で保管しておいた 97-7 (ボディ下側のパーツ) 2 個を用意する。1 つを写真のようにはめ込む。

/02



/03



2 つ目のパーツを写真のようにはめ込む。

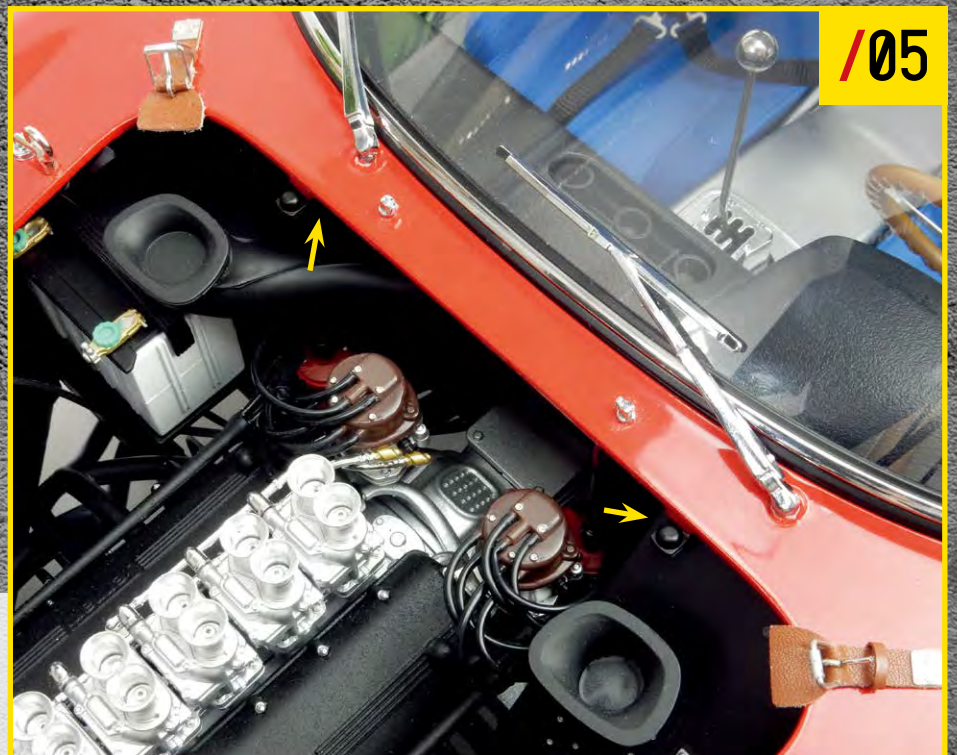


/04



STAGE04 で保管しておいた 97-8 (ボンネットマウント) と 97-1 (長方形の両面テープ) 2枚を用意する。短い両面テープを台紙から切り離し、マウント上面に貼り付ける。

ボンネットを開ける。両面テープの反対側を剥がし、2つのボンネットマウントを写真のように貼り付ける。作業を終えたらボンネットを閉じる。



/05

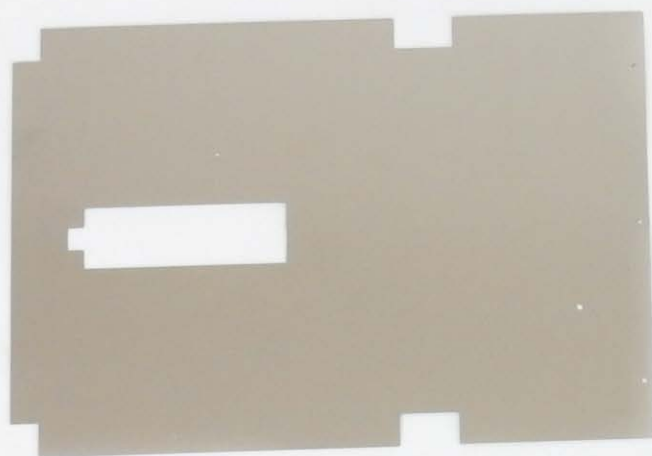


STAGE 09 の完成

現在のモデルはこんな感じだ。次回でいよいよ最後の仕上げをしよう。

シャーシ・ベースパネル③

シャーシにベースパネルを付けたら組み立てはすべて完了だ。



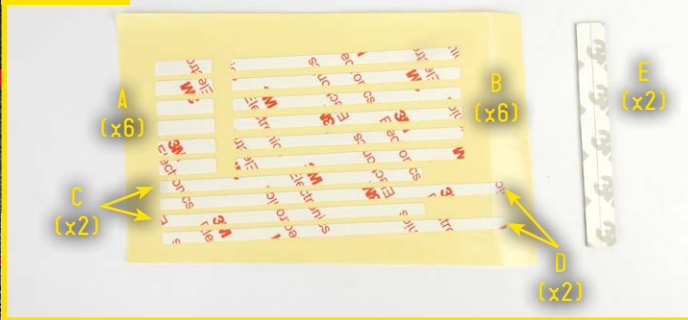
100-1

パーツリスト

100-1 リアパネル

ヒント ●ネジは穴に対して真っ直ぐに当てて締め込む。斜めに締めると、途中で締められなくなる場合がある。●金属製パーツのネジを締める際、途中で硬くなったらネジを緩め、削れて出たカスを取り除くと締めやすくなる。●ネジを締めにくい場合は、あらかじめ各パーツにネジを締めるかタップすることにより、ネジの溝を作っておくとよい。●ネジの先端に市販のミネオイルなどを少量付けると締めやすくなるので試してみよう。●プラスチック製パーツにネジを締める場合は、締め過ぎるとパーツが割れたり、ネジの溝が崩れて締められなくなる場合がある。パーツ同士がある程度固定されたら、締めるのをやめる。●パーツが外れやすい場合は、酢酸ビニル系が合成ゴム系の接着剤を使うとよい。瞬間接着剤は、乾燥すると周囲が白くなる(白化する)ことがあるので注意しよう。

/01



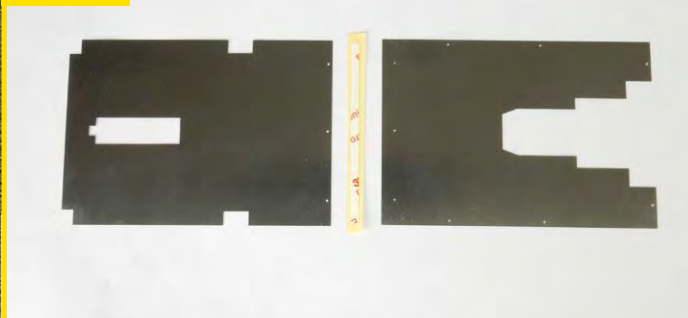
STAGE98 で保管しておいた98-2(長方形の両面テープ)を用意する。写真をよく見て、それぞれを識別できるようにしておく。

/02



100-1(リアパネル)と STAGE98 ・ STAGE99 で保管しておいた98-1(フロントパネル)と99-1(中央パネル)を用意する。パネルの保護フィルムを剥がす。

/03



写真のように、左から100-1(リアパネル)、両面テープのCタイプ、99-1(中央パネル)の順に配置する。保護フィルムを剥がした面を裏側にする。

/04



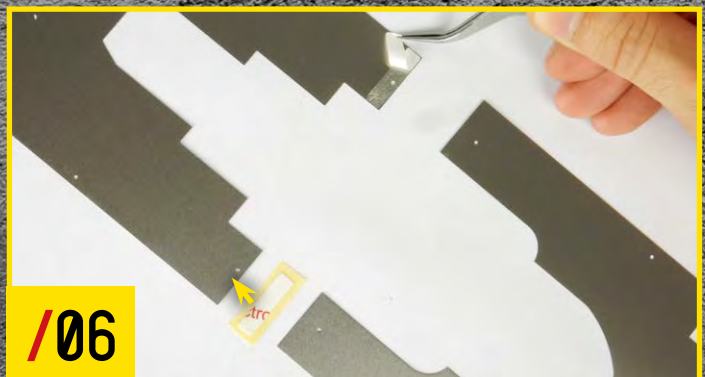
両面テープを台紙から剥がし、100-1(リアパネル)のミシン目のある端に貼り付けたら、反対側を剥がす。

/05

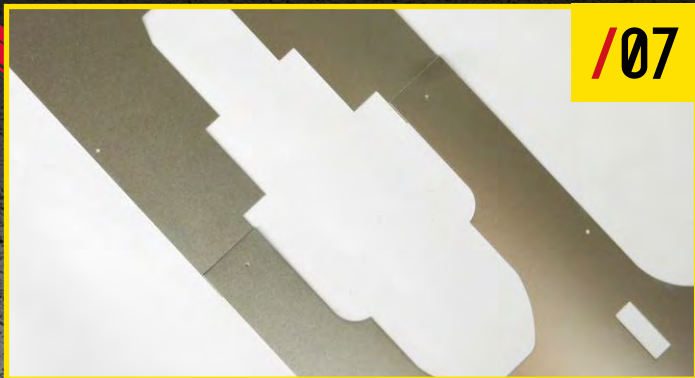


99-1(中央パネル)のミシン目の入った端を100-1(リアパネル)の両面テープの上に置く。このとき、2つの縁にある穴が一直線になるようにする。

/06

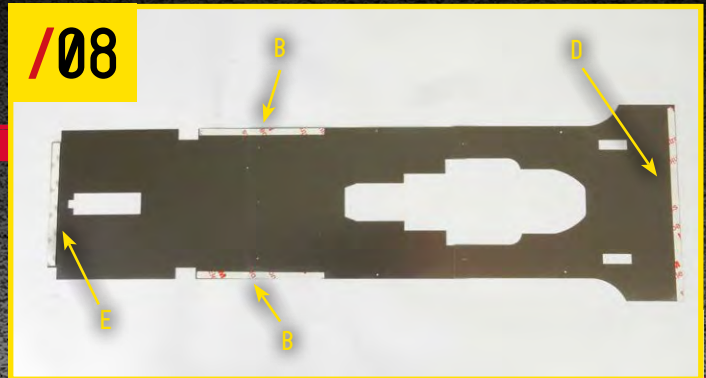


98-2(長方形の両面テープ)のAタイプ2枚を台紙から剥がし、99-1(中央パネル)の端に貼り付ける。両面テープの反対側を剥がす。



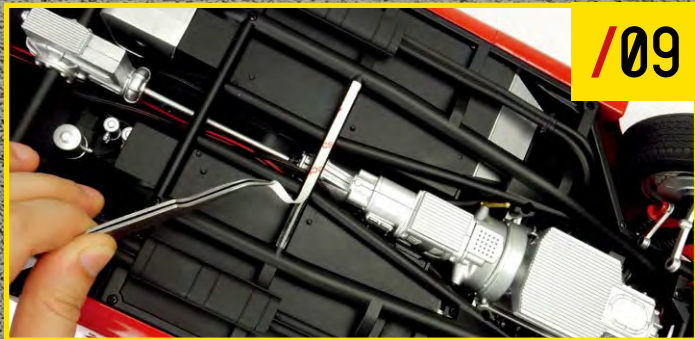
/07

フロントパネルの穴のあいた端を、中央パネルの両面テープの上に置く。両端の穴が一直線になるように配置する。



/08

98-2(長方形の両面テープ)の台紙から、Bタイプ2枚とDタイプ1枚、Eタイプ1枚を切り離す。それぞれのテープを写真のように貼ったら、反対側を剥がす。



/09

ボディを裏返す。Bタイプの両面テープを台紙から剥がし、写真のように、シャーシの横木に貼り付けたら、反対側を剥がす。



/10

両面テープで、モデル裏面にパネルを取り付ける。



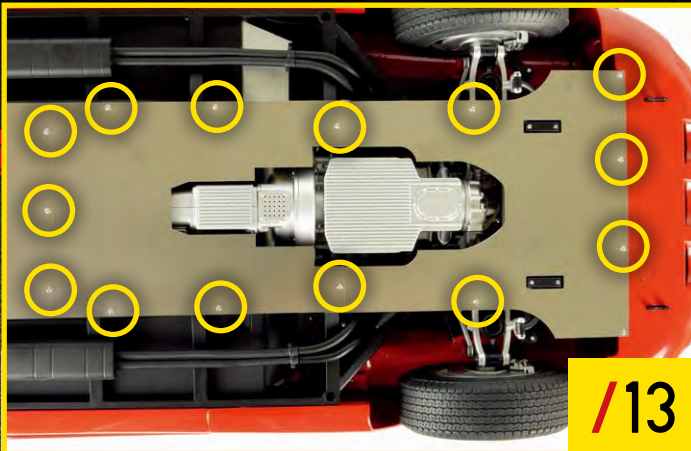
/11

STAGE 03 で保管しておいた98-3(ベースパネルのボルト)を用意し、1本切り離す。



/12

STAGE 03 で保管しておいた98-4(丸型の両面テープ)を、パネル縁の穴のひとつに貼る。ボルトを取り付ける。



100/11~12を繰り返し、残り14個の丸型両面テープとボルトをパネルの残りの穴にはめる。



最後に、ドア内側にあるフットボードプレートから保護フィルムを剥がす。



STAGE 100 の完成

組み立てはすべて完了した。あなただけの「伝説のフェラーリ 250GTO」をいつまでも大切にしてほしい。